

平成 30 年 2 月 18 日 (日) 施行

第 189 回 全経簿記能力検定試験 2 級 商業簿記 解説

第 1 問

1. 前期末に以下のとおり見越し計上している。

(借) 支払利息	70,000	(貸) 未払利息	70,000
----------	--------	----------	--------

これを当期首に再振替。

- 電子記録債権が当座預金口座に送金されたので、電子記録債権を減少させる。
- ¥2,000,000 は建設仮勘定で処理をする。
- 会社設立時ではないので諸費用¥500,000 は株式交付費で処理する。
- 本店では商品の送付を、仕入の減少として処理する。
- 当期純利益は繰越利益剰余金（純資産）に振り替える。
- 繰越利益剰余金（純資産）¥430,000 を配当および処分する。株主総会では配当金¥300,000 は、支払うことを決めただけで、また支払いはしていないため、未払配当金とする。

第 2 問

期首貸借対照表

現金	112,000	買掛金	184,000
売掛金	256,000	借入金	300,000
商品	121,000	資本金	250,000 7
土地	350,000	繰越利益剰余金	105,000 6
	<u>839,000</u>		<u>839,000</u>

仕 入

期中総額	2,396,000	仕入値引	25,000
繰越商品	121,000	繰越商品	145,000
		損益	2,347,000 3
	<u>2,517,000</u>		<u>2,517,000</u>

損 益

仕入	2,347,000	売上	3,383,000 1 8
その他費用	1,017,000	その他収益	45,000
繰越利益剰余金	64,000		
	<u>3,428,000</u>		<u>3,428,000 2</u>

期末貸借対照表

現金	212,000	買掛金	172,000
9 売掛金	264,000	借入金	330,000
商品	145,000	資本金	300,000
土地	350,000	繰越利益剰余金	169,000
	<u>971,000</u>		<u>971,000</u>

売 上

売上戻り	38,000	期中総額	3,421,000
損益	3,383,000		
	<u>3,421,000</u>		<u>3,421,000</u>

資 本 金

8 次期繰越	300,000	前期繰越	250,000
		増資	50,000
	<u>300,000</u>		<u>300,000</u>

繰越利益剰余金

4 次期繰越	169,000	前期繰越	105,000
		損益	64,000 4
	<u>169,000</u>		<u>169,000 5</u>

- 売上勘定の貸借差額より 3,383,000 を求め、損益勘定に振り替える。
- 損益勘定の貸方合計が判明するため、3,428,000 を求める。
- 売上原価の算定をすることで 2,347,000 を求める。

- 4 損益勘定の差額で 64,000 を求め、繰越利益剰余金に振り替える。
- 5 繰越利益剰余金勘定の貸方合計で求める。
- 6 繰越利益勘定の前期繰越より求める。
- 7 期首貸借対照表の貸借差額より求める。
- 8 資本金勘定の貸方合計が判明するので求める。
- 9 期末貸借対照表の貸方合計が判明するので求める。

期末資本金 = 上記より ¥300,000.
 期末繰越利益剰余金 = 上記より ¥169,000
 当期純利益 = 上記より ¥64,000
 売上総利益 = 純売上高 ¥3,383,000 — 売上原価 ¥2,347,000 = ¥1,036,000

第3問

月末残高

商品有高帳作成後の次月繰越額を記載する。

売上原価

前月繰越 28,800 + 純仕入 (36,000 + 40,600 - 2,320) - 次月繰越 26,105 = 76,975

売上総利益 (粗利)

純売上高 (@1,600 × 45 + @1,560 × 25 - @400 × 4) — 売上原価 76,975 = 32,425

第4問

10月25日	(借)	買掛金	60,000	(貸)	現金	60,000	出金伝票
"	(借)	売掛金	50,000	(貸)	売上	80,000	振替伝票
		現金	30,000				入金伝票
"	(借)	仕入	100,000	(貸)	買掛金	60,000	振替伝票
					現金	40,000	出金伝票
"	(借)	現金	5,000	(貸)	受取手数料	5,000	入金伝票

第5問

付記事項

仮払金の処理

(借) 旅 費	62,000	(貸) 仮 払 金	50,000
		現 金	12,000

決算整理事項

1. 現金の処理

(借) 現 金	14,000	(貸) 売 掛 金	8,000
		雑 益	6,000

2. 売上原価の算定

期首商品棚卸高は残高試算表より ¥390,000

(借) 仕 入	390,000	(貸) 繰 越 商 品	390,000
繰 越 商 品	420,000	仕 入	420,000

3. 貸倒引当金の見積もり

$$(\text{¥}1,458,000 - 8,000) \times 4\% = \text{¥}58,000$$

貸倒引当金残高 ¥17,000 を差引き ¥41,000 繰り入れる。

(借) 貸倒引当金繰入	41,000	(貸) 貸 倒 引 当 金	41,000
-------------	--------	---------------	--------

4. 減価償却費の計算

備品の取得価額は ¥540,000、耐用年数 9 年、残存価額はゼロなので、年間の減価償却費は、

$$\text{¥}540,000 / 9 \text{ 年} = \text{¥}60,000$$

(借) 減 価 償 却 費	60,000	(貸) 備品減価償却累計額	60,000
---------------	--------	---------------	--------

5. 有価証券の評価替え

有価証券運用損益は ¥246,000 - ¥230,000 = ¥16,000

(借) 売買目的有価証券	16,000	(貸) 有価証券運用損益	16,000
--------------	--------	--------------	--------

6. 消耗品費の処理

(借) 消 耗 品	33,000	(貸) 消 耗 品 費	33,000
-----------	--------	-------------	--------

7. 手数料の繰延べ

(借) 受 取 手 数 料	6,000	(貸) 前 受 手 数 料	6,000
---------------	-------	---------------	-------

8. 保険料の繰延べ

(借) 前 払 保 険 料	19,000	(貸) 保 険 料	19,000
---------------	--------	-----------	--------

9. 利息の見越し

(借) 支 払 利 息	3,000	(貸) 未 払 利 息	3,000
-------------	-------	-------------	-------

10. 法人税等の処理

(借) 法 人 税 等	60,300	(貸) 仮払法人税等	30,000
		未払法人税等	30,300

$$\text{法人税等} = \text{¥}201,000 \times 30\% = \text{¥}60,300$$